

ステークホルダーとのコミュニケーション

KGIの 進捗	金融経済教育開催数	
	2025年度実績	2028年度目標
	累計238回	累計500回

当行グループは、本業を通じた地域の社会課題の解決と経済発展の両立を図ることにより、ステークホルダーの皆さまの期待に応えるとともに、株主総会やお取引先懇話会、会社説明会を通じて、積極的な情報開示につとめ、ステークホルダーの皆さまからのご意見・ご要望などを伺うことで経営改善につなげています。

地域社会とのコミュニケーション

金融リテラシー向上を通じた地域社会への貢献

当行グループは、地域金融機関として、お客さまの金融リテラシー向上に取り組むことが、地域の皆さまの豊かな暮らしや将来の安心につながる重要な役割であると認識しています。また、金融に関する正しい知識や判断力を育むことは、地域全体の活力向上や持続的な成長にも寄与するものと位置づけています。

金融教育については、小学生から大学生までの各世代に応じて内容やレベルを工夫しながら実施しています。特に子ども向けには、ゲームや体験型ワークを取り入れ、「お金の大切さ」や「将来に備える力」を楽しみながら学べる機会を提供しています。こうした取組みを通じて、将来を主体的に切り拓く力や豊かな生活をささえる力の醸成をめざしています。

2025年度は、学校への出前授業や各種セミナーを幅広く実施しました。当行グループからの提案に加え、学校側からの依頼も増加するなど、金融教育に対する地域の関心と理解が着実に広がっています。今後も教職員の皆さまと連携しながら、教育課程との調和を図りつつ、継続的な金融教育の提供を進めていきます。

また、取引先企業や地域団体が主催するイベントへの講師派遣にも力を入れています。資産形成への関心が高まるなか、特に現役世代に対しては、金融や資産運用に関する知識を深め、自らの将来設計に活かしていただく機会の創出をめざしています。

このほか、営業店では取引先企業の従業員向けセミナー、本部では著名講師による資産形成セミナーや親子向け金融セミナーを開催するなど、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、地域の金融リテラシー向上と持続可能な地域社会の実現に貢献しています。

金融リテラシー向上への取組の意義



2025年度 金融教育・セミナー・相談会の実施

	開催数(回)	受講者数(人)
1.金融教育(教育機関向け等)	67	3,145
2.事業所提携セミナー	3	67
3.職域セミナー・相談会	86	1,003
4.営業店セミナー・相談会	82	782
合計	238	4,997

中期経営計画目標対比
 開催数: 238 / 500回 (47.6%)
 受講者数: 4,997 / 10,000人 (49.9%)
うち、教育機関向け・事業所提携
70回 / 3,212人



»ステークホルダーとのコミュニケーション

お客さまとのコミュニケーション

お取引先懇話会

地域のお客さまとのリレーションシップ強化を図り、かつ、お客さまへ積極的な情報開示を行うため、毎年お取引先懇話会を開催しています。

2025年度は、8月から9月にかけて三重県と愛知県の4か所で全4回開催し、取締役頭取が、業績内容をはじめとして、お客さまの課題解決に向けた活動、事業承継や地域DX、サステナビリティへの取り組みなどについて、事業内容とその成果を説明いたしました。

当行役員やグループ会社社長なども参加し、ご意見・ご要望など、お客さまからの声を直接伺うことで、コミュニケーションを図るとともに経営改善につなげています。



開催実績

開催年月	開催場所(招待地区)	参加人数
2025年8月	津市(中勢地区)	240名
9月	四日市市(北勢地区)	270名
	松阪市(南勢地区)	174名
	名古屋市(愛知地区)	259名
	合計	943名

中計目標の 進捗	IR・SR開催回数	
	2025年度実績	年間目標
	38回	30回以上

株主・投資家とのコミュニケーション

IR・SRによるコミュニケーションの強化

当行グループは、株主・投資家との建設的な対話を重要な経営課題と位置づけています。決算説明会や個別面談などを通じて、当行グループの経営戦略や企業価値向上に向けた取り組みについて説明するとともに、資本市場からの期待や評価の把握につとめています。対話を通じて得られた知見を経営に活かすとともに、ステークホルダーの皆さまとの相互理解を深めることで、中長期的な企業価値向上をめざしています。

活動実績

	2023年度	2024年度	2025年度
決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)	2回	2回	2回
個人投資家向け説明会	0回	1回	1回
機関投資家等との個別面談	14回	21回	35回
IR・SR開催回数 合計	16回	24回	38回

	2025年度 参加者数
株主総会	214名(オンライン参加含む)

主な対話テーマ

分類	主な対話テーマ
成長戦略	中期経営計画の進捗、成長投資
資本施策	ROE向上、株主還元、政策保有株式の削減
人的資本	人材育成、人材戦略、人事制度改革
ガバナンス	取締役会の実効性、リスク管理
サステナビリティ	地域課題の解決、サステナブルファイナンス

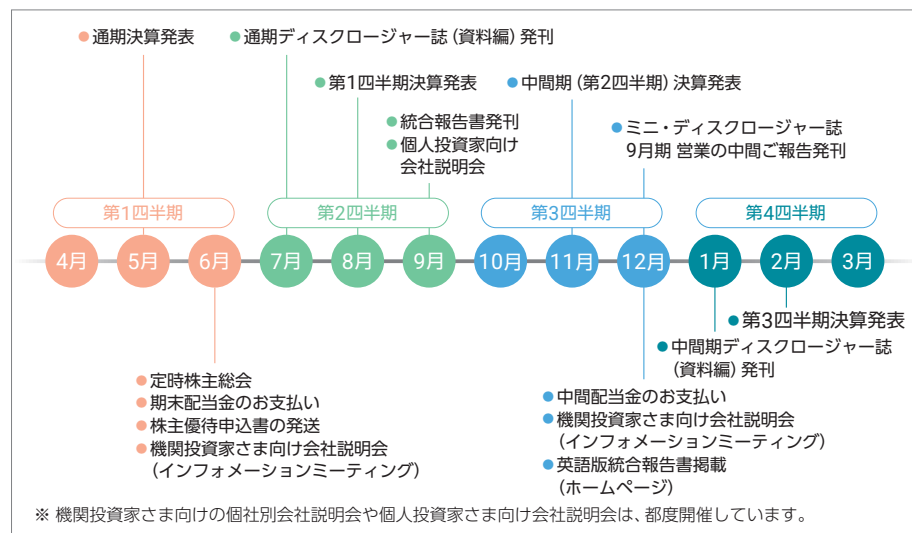


百五銀行グループ ホームページ「株主・投資家の皆さま」
<https://www.hyakugo.co.jp/ir/>



»ステークホルダーとのコミュニケーション

2026年度スケジュール（予定）



株主優待制度

当行では、日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。

このたび、株主さまに当行株式を長期にわたり継続的に保有していただくことを目的として、2026年3月31日の基準日より株主優待制度の内容を下記のとおり変更いたしました。

対象となる株主さま	毎年3月31日現在の当行株主名簿に記録された1,000株以上をお持ちの株主さまのうち、株式保有期間が1年以上の株主さま
株主優待の内容	三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、株式保有期間に応じてお好みの一品をお選びいただけます。



株式保有期間	お選びいただける特産品
1年以上3年未満	3,000円相当
3年以上	5,000円相当

詳細は右記の
二次元コードから
ご確認ください



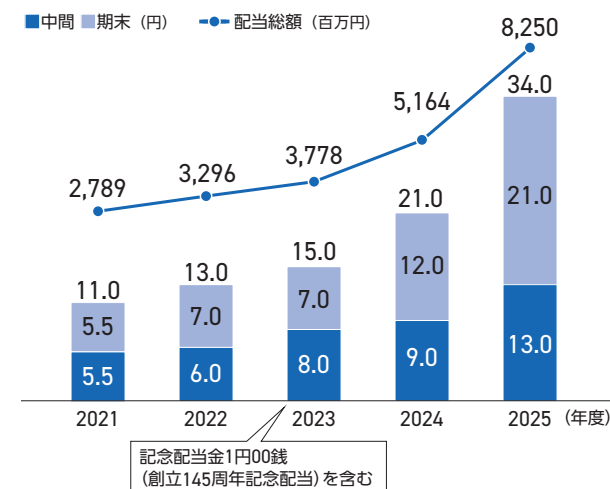
※ 優待の内容は見直しを行う場合がございます。

株主配当

当行は、健全経営の維持・強化を図るため、内部留保の充実につとめるとともに、株主の皆さまに対して、安定的な利益還元を実施することを基本方針としています。

当行の基本方針にもとづき、株主の皆さまへの2025年度の1株あたり配当金（年間）は、34.0円といたしました。

1株あたり配当金および配当総額の推移



情報開示

ディスクロージャー誌「統合報告書」の発行

当行では、百五銀行 統合報告書（HYAKUGO BANK REPORT）を発行しています。本報告書は、財務情報と非財務情報の両方の観点で構成され、当行の経営状況や持続的な成長への取組み、中長期的な価値創造などを掲載しています。具体的には、中長期の経営戦略、企業統治（ガバナンス）の仕組み、また当行が地域金融機関として、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいる活動などを写真や数値データとともに紹介しています。最新版の「百五銀行 統合報告書 2026」は、各営業店の窓口にご用意しています。

また、銀行法第21条にもとづくディスクロージャー誌（資料編）は、毎年7月と1月に発行しています。当行ホームページをご覧ください。



百五銀行 ホームページ
<https://www.hyakugo.co.jp/>

